

バブル崩壊後の 1995 年、建築家が「地域性を考慮して設計した建築」には地域の人が誰も行かないからテレクラの待合場所になっている、と指摘したのは社会学者の宮台真司でした。当時はゼネコン汚職、阪神淡路大震災、Windows95 発売など、建築の存在意義が根幹から揺らいでいる時期でした。そしてあった「巨大建築論争」(1974) を超えて史上最大の論争となり、の多くがデザインビルドで建設されようとしています。そんな

について考えてみたいと思います。
今、新国立競技場問題は戦後最大の論争で東京オリンピック・パラリンピック施設時代における、建築専門家の役割につ



『建築家不要論の時代に』

【講師】 建築家 藤村龍至 氏

■鶴ヶ島太陽光発電所環境教育施設 photo: Takumi Ota

日時：2016年4月25日(月曜日) 16時～17時30分 受付15時30分

会場：ホテルシティオ静岡 5階 桜の間 静岡市葵区伝馬町1-2 TEL 054-253-1105

受講料：無料 (CPD2 単位申請中)

定員：80名(先着順) ※参加票の送付は行いません。また、定員を超えた場合のみご連絡致します。



photo: Kenshu Shintsubo

1976年東京生まれ。
2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。
2005年より藤村龍至建築設計事務所主宰。
2010年より東洋大学専任講師。
2016年より東京藝術大学准教授、東洋大学非常勤講師。

主な建築作品

「鶴ヶ島太陽光発電所・環境教育施設」(2014)

主な著書

『批判的工学主義の建築』(2014)

『プロトタイプングー模型とつづやき』(2014)

近年は建築設計やその教育、批評に加え、公共施設の老朽化と財政問題の解決を図るシティマネジメントや、日本列島の将来像の提言など、広く社会に開かれたプロジェクトも展開している。



■住民とともに行われた塗装ワークショップ (2014年4月20日)

提供：東洋大学ソーシャルデザインスタジオ



(JIA静岡事務局) 住所 静岡市葵区昭和町3-1静岡昭和町ビル603号

TEL 054-221-8855(PM1:00-PM5:00) FAX 054-221-8865 E-mail jia-shizuoka@hyper.ocn.ne.jp

■建築家講演会 参加申込書 FAX：054-221-8865

締切4月20日

所属 _____ 氏名 _____ (人数 ___ 名) 連絡先 _____ FAX _____

※CPD登録番号をお持ちの方は番号の記載をお願い致します。 CPD登録番号 _____